

OTTO  
KÜNZLI

The  
Exhibition

10.10 sat—  
12.27 sun  
2015

Otto Künzli, Herz, 1985, Hiko-Mizuno College of Jewelry Collection/Photo Naoya Ikegami, Starring Kaoru Ishii

オットー  
クンツリ  
展



オットー・クンツリ展 OTTO KÜNZLI. THE EXHIBITION  
会期 2015年10月10日(土) - 12月27日(日)  
会場: 東京都庭園美術館

## 概要

アートとしてのジュエリーを創造するコンテンポラリー・ジュエリーの分野を代表するオットー・クンツリ（1948年スイス・チューリッヒ生）。彼はジュエリーが持つ身体との関係性、さらに他者や社会と結びつけるコミュニケーションの触媒としての性格を巧みに利用して、ジュエリーを普遍的な人間存在や社会のメタファーへと変換させてきました。一貫してコンセプチュアルなアプローチを続けながらも、そのユーモア溢れる表現はコンテンポラリー・ジュエリーの世界にとどまらず、多くの人々に受け入れられています。

本展はドイツ・ミュンヘンのディ・ノイエ・ザムルンガー国際デザイン美術館からスタートし、スイス・ローザンヌのMUDAC 現代デザイン応用芸術美術館を経て、最終会場として開催される国際巡回展です。東京展は、1967年の初期作から本展のための最新作まで長いキャリアを網羅する約150件のジュエリーのほか、写真、ドローイング、インスタレーションによって構成されます。

## 展覧会タイトル：オットー・クンツリ展

英文タイトル：OTTO KÜNZLI. THE EXHIBITION

会期 2015年10月10日（土）－12月27日（日）

開館時間：10:00－18:00（最終入館 17:30）

休館日：毎月第2・4水曜日（10/14, 28・11/11, 25・12/9, 24）

\*12月23日（水・祝）は開館、翌24日（木）休館。

会場：東京都庭園美術館 東京都港区白金台 5-21-9

観覧料：

一般：1,000（800）円

大学生（専修・各種専門学校含む）：800（640）円

中・高校生・65歳以上：500（400）円

（ ）内は前売りおよび20名以上の団体料金。

小学生以下および都内在住在学の中学生は無料。

身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者一名は無料。

教育活動として教師が引率する都内の小中・高校生および教師は無料（事前申請が必要）。

第3水曜日（シルバーデー）は65歳以上の方は無料。

前売り券 e+（イープラス）にてオンライン販売いたします。 <http://eplus.jp>

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、東京新聞

企画協力：ディ・ノイエ・ザムルンガー 国際デザイン美術館（ドイツ・ミュンヘン）

後援：スイス大使館、ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター、スイス・プロ・ヘルヴェティ  
ア文化財団

年間協賛：戸田建設株式会社

## 展覧会の見どころ

### 1. コンテンポラリー・ジュエリー界の巨匠の大回顧展 ("THE EXHIBITION")、東京に巡回

1960年代に生まれたコンテンポラリー・ジュエリーの動きに"コンセプチュアル・ジュエリー"という新たな方向性を打ち出したパイオニアであり、今もなお最も重要な存在であるオットー・クンツリ。2013年にミュンヘンのディ・ノイエ・ザムルンガー国際デザイン美術館、2014年にローザンヌのMUDAC 現代デザイン応用芸術美術館で行われた回顧展が東京都庭園美術館に巡回します。150件を超えるオットー・クンツリの作品を通して、「ジュエリーとは何か」という本質的な意味を問いかけます。

### 2. ジャンルを超えて

オットー・クンツリの表現はコンテンポラリー・ジュエリーの枠にとどまるものではありません。人間や社会にむけた鋭敏なまなざし、着想の先鋭性とウィットに富んだ表現、そして造形の美しさは普遍的な魅力をそなえています。本展は、今日の表現に関心のある全ての人々に向けたものです。

### 3. 東京展のための新作

ミュンヘンとローザンヌの2会場で展示された作品に加えて、東京展のために制作された最新作をご紹介します。またインスタレーションを多く含む旧作も、東京都庭園美術館の特別な空間の中で新しい表情を見せるでしょう。美術家で映像ディレクターの山城大督氏とのコラボレーションによる映像作品も東京展ならではの見どころです。

### 4. コンテンポラリー・ジュエリーの世界をより深く

会期中、トークやワークショップ、建築やファッションの世界で活躍するゲストをお招きするシンポジウムなど、コンテンポラリー・ジュエリーの面白さをより深く理解するための関連プログラムも充実。さらに、美術館を抜け出して体験できるサテライト・プログラムも登場します。

---

## 関連プログラム

アーティスト・トーク「オットー・クンツリ- ザ・レクチャー」 2015年10月10日(土) 14:00-16:00(開場 13:30)

会場：新館ギャラリー2 定員：120名 \* 逐次通訳あり [参加費無料(要展覧会チケット・事前申込制)]

キュレーター・トーク「アートを身につけるとのこと」 2015年11月8日(日) 14:00-15:30(開場：13:30)

関昭郎(当館事業企画係長・本展キュレーター)

会場：新館ギャラリー2 定員：120名 [参加費無料(要展覧会チケット・予約不要)]

ワークショップ「マテリアル・ワンダーランド」 2015年10月25日(日) 11:00-16:00

嶺脇美貴子(ジュエリー・アーティスト/専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ講師)

定員：20名 [参加費有料・事前申込制]

シンポジウム「表現としてのジュエリー- その可能性」 2015年12月8日(日) 14:00-16:00(開場：13:30)

スーザン・ピーチ(ジュエリー・アーティスト、Schmuck2 企画) × 鈴野浩一(建築家、トラフ建築設計事務所共同主宰) × 山縣良和(ファッション・デザイナー) × 関昭郎(当館事業企画係長・本展キュレーター)

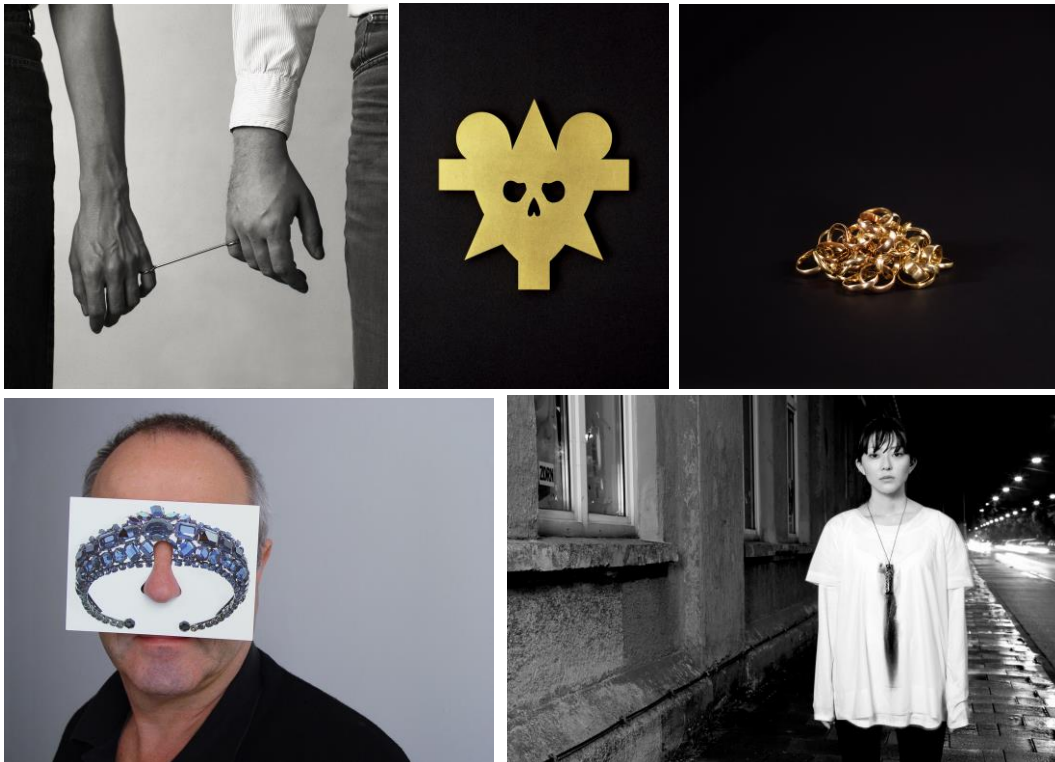
会場：新館ギャラリー2 定員：120名 [参加費無料(要展覧会チケット・事前申込制)]

## 広報用画像

下記のほか各種広報用画像をご用意しています。高解像度データダウンロード専用URLをご案内いたしますので、ご希望の方は [press@teien-art-museum.ne.jp](mailto:press@teien-art-museum.ne.jp)までご連絡願います。

※ご使用時の注意とお願い

- ・写真使用の際はキャプション・クレジットの掲載を必ずお願いいたします。
- ・トリミング、文字載せは原則不可。二次使用は禁止いたします。
- ・使用の際は事実確認のため、記事校正を必ずさせていただきます。
- ・掲載紙又は、掲載記事を担当者までお送り願います。



左から《2 人のためのリング》Ring für Zwei Personen リング 1980 年／《おお！》Oh, say!, ブローチ 1991 年／上《チェーン》Chain 1985/86 年／下《フーノウズ？》Who nose? 仮面2001 年／「《スミ》（2008 年）をつけたマリMari with Sumi (2008)」 Photo: Miriam Künzli

すべて© VG BildKunst 2013

## 会場情報

東京都庭園美術館 | 東京都港区白金台5-21-9

[目黒駅] JR 山手線東口／東急目黒線正面口より徒歩7 分

[白金台駅] 都営三田線／東京メトロ南北線1 番出口より徒歩6 分

TEL. 03-3443-0201 FAX. 03-3443-3228

[www.teien-art-museum.ne.jp](http://www.teien-art-museum.ne.jp)

---

## お問い合わせ先

東京都庭園美術館 広報担当：板谷、浜崎

TEL. 03-3443-0201 Mail. [press@teien-art-museum.ne.jp](mailto:press@teien-art-museum.ne.jp)